



Design your own road

WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画
WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)
受付時間: 9:30~17:00 (月~金曜日)
HP: <http://whill.jp/contact>



WHILLの月刊誌

WHILL MAGAZINE

2017 SEP. 9



WHILL



お客さまインタビュー

AIKO TSUTSUMI

VOLUME. 21

堤愛子さん

乗るときはいつも ワクワクします。

障害者団体の理事長であり、ピアカウンセラー、
介護保険 / 障害者相談支援のケアマネージャーもされている
堤様は、ご自身も車いすを20年以上利用されており、
2016年6月からWHILL Model Aをご利用いただいております。
福祉のプロでもあり、車いすユーザーでもある堤様に、
どのようにWHILLを利用されているかお話を伺いました。

WHILLご利用のきっかけ

20年以上、アメリカ製の電動車いすを利用していたのですが、補装具費支給制度で更新できるタイミングでもあり、今回は走破性がほぼ一緒で、さらにデザインが気に入ったWHILLを選びました。WHILLの初期の頃から注目していたのですが、新宿での試乗会で初めて乗り、自宅周辺でも試乗を行い、購入を決めました。決め手はやはり「デザイン」ですね。またWHILLで働く若者たちを応援したい気持ちもありました。(笑)



WHILLの気に入っているところ

以前の電動車いすのときには、パンクや、突然止まるなどソフトの不具合、踏切を渡るときの怖さがありましたが、WHILLはパンクの恐れもないし、今のところ問題なく動いているし、大きな前輪のおかげで踏切も安心して渡れるようになりました。また段差なども勢いをつけることなく登れるのもいいですね。シートスライドもトイレでの移乗の際や、足をリラックスさせたいときに重宝しています。美容室でWHILLを外に置かなくてはいけないときに、iPodで鍵をかけられるのも便利



ですね。また、シーティングも良くて乗っていて疲れません。デコボコ道を走るときの振動を以前より強く感じるのが気になりますが、それ以上に良いところはいっぱいありますね。

WHILLが来て大きく変わったこと

使い始めて1年以上経ちますが、いまだに乗るときにはちょっとワクワクしています。職場までの片道3kmをいつも楽しく通勤しています。知らない人に「素敵な車いすですね」と声を掛けられるのもいい気分です。(笑) やはり乗り物としての「デザイン」のおかげかもしれませんね。また仕事柄、電車で遠くに行くことも多いのですが安心して出かけられます。



WHILL Model C 開発秘話

STORY OF MODEL C

「便利」と「安心」を 加速させるWHILLアプリ

WHILL 独自の機能として挙げられるのが、スマートフォンと本体をつなぐことができる「アプリ」です。バッテリー残量や走行距離など、本体内部の状態を確認することができるほか、速度設定、遠隔操作、本体ロック*などの機能もついています。WHILL アプリの開発メンバーである2人のエンジニアに話を聞きました。

*Model Cでは、本体にスマートキーが付属しておりますので、スマートフォンをお持ちでない方も簡単に鍵をかけることができます。



(左) サービス開発部 山下 貴大 / モバイル向けのゲーム会社でアプリの企画・開発をしていました。(右) 電気・ソフト技術部 杉浦 光 / ロボカップ世界大会に出場するなど、ロボットの設計やソフトウェアの開発をしていました。

説明書いらずの操作感

普段からiPhoneを利用している人なら説明書無しで感覚的に操作できるよう、iPhone標準アプリの仕様に近づけました。例えば、選択可能なボタンは青に統一し、どこを押せるのか直感的にわかるようにしています。ユーザーが必要としている機能を厳選し、極力シンプルに配置しました。アイコンを活用して文字を減らし、言い回しも簡単にしています。(写真1)

人気の遠隔操作をより楽しく、より使いやすく

Model Aと同様に、Model Cもスマートフォンを使い、指先だけで無人のWHILLを移動させることができます。移乗の際にベッドサイドに呼び寄せる、椅子に座った後に壁際にWHILLを寄せておく、狭いトイレで



1) シンプルな画面 2) コントローラー 3) 速度設定画面

WHILL だけ外に出て戸を閉めるなど、様々なシーンで利便性を発揮します。Model Cでは、アプリでの操作感を実際のコントローラーに近づける点にもこだわりました。画面の見た目も、本体のコントローラーそっくりにしています。感覚的に操作でき、誤操作が起きないようなデザインを目指しました。(写真2) また、これはiPhone7以降で動作する機能ですが、操作感をリアルに表現するために、左右にコントローラーを傾けたときにiPhoneが振動するという、ちょっとした遊び心も加えています。(笑)

アプリに求められていることは？

他のこだわりといえば、速度設定の機能です。当初は、加速度や回転速度など多くの項目を設定できる仕様でした。しかし、設定が複雑になることで、操作が難しくなり、逆に希望通りの速度にできずに不便に感じてしまうのではないかと考えました。アプリに求められている本質的なニーズは「細かく設定できること」ではなく、「WHILLのスピードを思い通りに簡単に変えられること」だと気付いたのです。最終的に、Model Cの速度設定は「のんびり」「標準」「きびきび」という3種類のシンプルなモード設定に決まりました。(写真3) 実際に試乗を繰り返し、快適な乗り心地とスピードを算出して設定しています。

毎日使うものだから、「見える」ことの安心感を

電動の乗り物を購入する際、内部の状態が不安だというお声は以前からありました。いつバッテリーを交換すればいいのか、タイヤはどれくらい走ったら取り替えればいいのか、「安心」を重視するユーザーにとっては大きな問題です。WHILLアプリでは、バッテリーの消耗度や総走行距離が分かるので、メンテナンス時期の目安になります。また、今まで自分が走った距離を知る楽しみもありますね。

※現在はiPhone版アプリのみ。Android版アプリも準備中。
※介護保険レンタルでご利用のWHILLは、WHILLアプリをご使用いただけません。ご了承ください。

NEWS

国際福祉機器展(H.C.R.)に出展

出展ブース内では、WHILL Model CとWHILL Model Aの両方に試乗いただけます。Model Cの分解や段差乗り越えも実際に体験いただけます。オプションやカラーバリエーションの展示もございますので、ぜひお越しください。またH.C.R.主催の「車いす貸出コーナー」にて1回2時間を上限に貸し出しをしています。台数に限りがございます。予めご了承下さい。

期間：2017年9月27日(水)～9月29日(金) 10:00～17:30 (最終日29日のみ16:00まで)
場所：東京ビッグサイト東展示ホール 【ブース6-18-10】



MASAFUMI TASHIRO DESIGN ROOM